

2022年10月31日

各 位

株式会社三井住友銀行

フランスベッドホールディングス（株）に「ESG/SDGs 評価融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、フランスベッドホールディングス（株）（代表取締役会長兼社長：池田茂）に対し、「ESG/SDGs 評価融資」を実施いたしました。

「ESG/SDGs 評価融資」は、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）が作成した独自の評価基準に基づき企業のESG（※1）側面の取組や情報開示、SDGs（持続可能な開発目標）（※2）達成への貢献を評価し、取組や情報開示の適切さについての現状分析、今後の課題、課題への取組事例などを還元させていただく融資商品です。

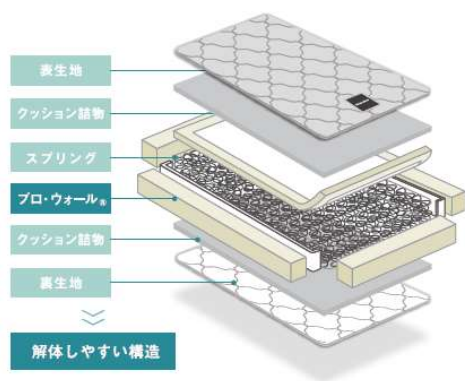
今回のフランスベッドホールディングス（株）に対する評価結果は、「気候変動への対応」、「ローカル／グローバル・コミュニティへの配慮」、「企業統治体制」において非常に高い水準であると判断されました。企業経営において良好なESG側面の取組と情報開示を実施されており、また、事業を通じたSDGs 達成への貢献意欲が高いとの評価となりました。

ESG側面の取組、情報開示では、以下の点等が評価されました。

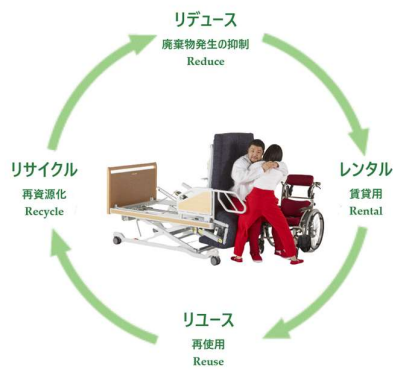
- ① 気候変動への対応に向けて、2030年までにCO2排出量30%削減（2020年比）、2050年カーボンニュートラル実現の中長期目標を設定。また、レンタルサービスや羽毛リサイクル・リフォームの事業化に取り組み、製品・サービスの提供を通じて省資源や省CO2に貢献しておられる点
- ② 少子高齢化が急速に進む日本において、シルバービジネスの積極的な事業展開を進めており、介護の負担軽減に資する製品を開発しておられる点。また、そうした製品やシルバービジネスの知見を、高齢化が進む他国にも提供することにより、事業機会の拡大と社会貢献の両立を進めておられる点
- ③ 取締役会の実効性向上に向けて、第三者機関による分析・評価を実施するとともに、スキルマトリックスを作成し、各取締役の知識・経験等を可視化しておられる点。また、内部通報制度について、受付窓口の設置や対象者、利用実績等の情報を含め、きめ細やかに内容を開示しておられる点

加えて、事業を通じて、SDGsが示す「目標12：つくる責任つかう責任」「目標13：気候変動に具体的な対策を」等の達成に向けた意欲をお持ちです。

三井住友銀行では、「E S G / S D G s 評価融資」により、お客さまのE S G / S D G s への取組を、金融を通じて支援してまいります。



リサイクルしやすく、環境にやさしい
マットレス構造 MORELIY (モアリー)



循環型社会の構築に貢献するレンタル
サービス

<ご参考>

※1 ESGとは

ESGとは環境 (Environmental)、社会 (Social)、企業統治 (Corporate Governance) の頭文字を取ったものです。いずれの側面も企業が事業活動を展開するにあたって配慮や責任を求められる重要課題として考えられています。

※2 SDGsとは

Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標) の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を2030年までに目指す17の目標と169のターゲットのことで

以上